

令和7年12月1日

第104回安来市議会定例会 12月定例会議

市長所信表明

安来市

第104回安来市議会定例会12月定例会議の開議に当たり、諸議案の説明に先立ちまして、最近の市政の主な動きと所信の一端を申し述べます。

はじめに、ホテル誘致についてであります。

11月18日に、株式会社アメイズに対して、宿泊業誘致としては初めてとなる、安来市企業立地促進条例に基づく「立地計画認定」を行いました。

同社は、九州を中心に全国に91店舗を展開する「HOTEL AZ」（ホテル エーゼット）を運営する企業で、令和9年1月に安来市での操業開始を予定されています。

開業時には13名の雇用が計画されており、地域経済への直接的な寄与だけでなく、観光振興や滞在時間の増加による地域経済の活性化などの波及効果も大いに期待しているところです。

次に、国の物価高騰対策についてであります。

11月21日に閣議決定された、「強い経済」を実現する総合経済対策において、物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を引き続き支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を拡充する方針が盛り込まれました。

安来市における、当交付金を活用した物価高対策について早急に事業を検討し、できる限り早期に実施できるよう努めてまいります。

次に、第3次安来市総合計画についてであります。

令和6年度から策定に向けて取り組んでまいりました、令和8年度以降を計画期間とする「第3次安来市総合計画」について、その最終案がまとまりました。本計画の基本構想に関する議案を、今議会に提出しております。

基本構想では、目指す将来像として「ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまち」を掲げております。

これは、「ワザ」に例えた安来ならではの地域資源の魅力を高めるとともに、安来の地名の由来でもある「安らぎ」を次世代に継承し、変化の激しいこれからの10年に向けて、新たなチャレンジを続けていくという思いを込めたものです。

引き続き、市民の皆さまとともに、「オール安来」で新たなまちづくりを進めてまいります。

次に、公共施設使用料等の見直しについてであります。

安来市が設置する公共施設の使用料等について、社会情勢の変化による維持管理費の上昇や、利用者の受益と負担のあり方を踏まえ、令和7年4月に「公共施設使用料等の見直しに関する基本方針」を策定し、使用料等の見直しの検討を進めてきたところです。

この度、使用料等の改定案がまとまり、令和8年4月1日を施行日とする公共施設使用料等の見直しに係る条例改正案を今議会に提出しております。

使用料等の見直しとともに、施設の効率的な管理運営や業務改善に

よる経費削減にも取り組みながら、利用者の満足度を高め、市民サービスの向上に努めてまいります。

次に、小中学校適正配置についてであります。

「安来市立小中学校適正配置基本計画」に基づき、調整を進めておりました、令和8年度から山佐小学校を現在の広瀬小学校に再編統合することについて、学校設置条例に係る改正案を今議会に提出しております。

山佐小学校につきましては、令和7年度末をもって閉校し、山佐小学校区の児童は、令和8年度より広瀬小学校へ通学することとなります。

子どもたちにより良い教育環境を整えるため、引き続き、基本計画に基づく学校再編を着実に進め、安来市の総合的な教育環境整備に取り組んでまいります。

次に、都市計画に係る「切川地区計画」についてであります。

切川地区にて大型の工場立地が見込まれる区域について、建築物の用途制限などを明確化し、周辺環境と調和した良好な工業用地の形成を図るため、都市計画法による地区計画として「切川地区計画」を定めたところです。

今議会には、地区計画に関連する建築物の制限に関する条例の改正案を提出しております。引き続き、島根県とも連携を取りながら、関係手続き等を進め、事業の進捗を図ってまいります。

最後に、今回の提出議案数につきましては、補正予算を含む議決案件 24 件、報告案件 1 件、同意案件 1 件であります。

補正予算の主な事業でございますが、安来港飯島線道路改良事業の繰越明許費の設定のほか、障がいのある方の生活を総合的に支援する「障がい者総合支援事業」、(仮称)安来スマートインターチェンジのアクセス道路に係る設計委託料、また物価高騰の影響で不足した学校給食予算への対応措置などについて、予算計上をしております。

諸議案の詳細については、担当職員から説明をさせていただきます。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。